

テーマ【 校区の緑視率を調べよう 】

池田市立呉服小学校

《学習のねらい》

- ・現在の校区内の町並み写真から、写っているみどりの割合（緑視率）を測定し、校区のみどりについて考える。
- ・みどりの役割や大切さについて学び、町のみどりについて自分ができることを考え、行動しようとする態度を養う。

《学習の流れ》

時間	活動内容	活動の詳細	指導のポイント
20分	「地球温暖化とみどりの話」を聞く。 (講義)	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化が起こるしくみやその影響、みどりが果たす役割についての説明を聞く。 ・緑視率の定義とその測定方法の説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ■池田市環境にやさしい課よりゲストティーチャーを招いて実施する。
35分	「緑視率」を測定する。 (作業)	<ul style="list-style-type: none"> ・測定シートに色を塗り、マス数を数える。 ・手分けして、すべてのシートを完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■校区の現在の写真 60 枚（環境にやさしい課に依頼し、準備してもらう）を使うことで、子どもたちは当該の場所をイメージしながら作業することができ、結果を実生活に結びつけることができる。
15分	結果を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・測定した緑視率を一人ずつ発表する。 	
5分	まとめを行う。 (講義)	<ul style="list-style-type: none"> ・2年前との比較で変化が特徴的な写真について、解説する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■同じ場所の写真を比較することで、変化を感じることができる。
15分	ワークシートを用いた振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・緑視率を計ってみて感じたことを記入する。 ・授業で分かったこと、新しく発見したことを記入する。 ・まちの環境を良くするため自分ができることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ■自分ができることを考え、行動しようとする態度を養う。

『緑視率』とは？・・・人の視野に占める樹木などの「みどりの面積」の比率です。定点を決め、一定基準のもとで、まちの風景の写真撮影を行い、机上で写真内の緑量の割合を算出します。国土交通省等が行った調査によると、「緑視率がおおよそ 25% を超えると緑が多いと感じ始める」という結果が出ています。

(大阪府環境農林水産部ウェブページより)

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

ゲストティーチャー：池田市環境にやさしい課

プログラム：緑視率の算出方法（出典：緑量調査報告2010／池田市環境にやさしい課）

Step.1 写真の撮影 →



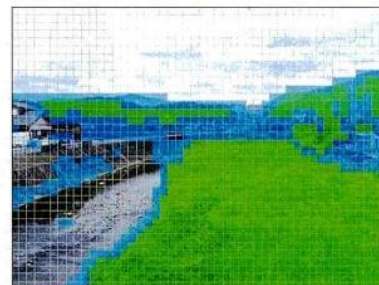
交差点から道路がのびる方向を撮影します。

Step.2 緑視率算出のための準備 →



写真にマス目をつけ、マス中が植物の場合は緑色に、マス中に一部植物が含まれる場合は青色に塗ります。

Step.3 緑視率の算出



全マス数の中にどれくらい緑色と青色のマスがあるか割合を計算します(青色1マスは0.5マスとして数えます)。こうして計算されたのがこの場所の緑視率です。

《成果》

- 実際に呉服小学校区内の現在の写真 60 枚を手分けして測定したため、子どもたちは自分たちの生活を振り返って、「こんなに緑が少なかったんだ」「この地域は緑が多いな」という実感がこもった感想が返ってきた。

(児童の振り返りより)

- 池田市内の緑視率なんて計ったことがなかったので、少なくてびっくりしました。その地域ごとに全然ちがうことにも驚きました。
- 思っていたよりも池田は緑が多いと思った。学校付近の中では呉服小学校は低いほうだったので、びっくりしました。
- 緑がある所とない所の差が激しいと思った。猪名川運動公園は、特に緑が多かった。地球温暖化と緑が関係しているなんて、初めて知った。